（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・「手帳型経営計画書」（以下、経営計画書）を全社員に配布している。 ・経営計画書に**差別禁止の**方針を明記し、朝礼、全体会議の中で読み合わせをして周知徹底している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・就業規則に【ハラスメントの防止・相談】について明記している。 ・経営計画書に**ハラスメント禁止の**方針を明記し、朝礼、方針勉強会、全体会議の中で読み合わせをして周知徹底している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・経営計画書に**労働関係の**方針を明記し、朝礼、方針勉強会、全体会議の中で読み合わせをして周知徹底している。 ・1年単位の変形労働時間制に関する協定を結んでいる。								8.5 8.8									
4		☑	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・現在、外国人労働者の雇用はございません。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・就業規則に【安全衛生】について明記している。 ・経営計画書に**労働安全衛生の**方針を明記し、朝礼、方針勉強会、全体会議の中で読み合わせをして周知徹底している。 ・朝礼時に工場では危険予知と周知を図ると共に、安全衛生に関わる管理者を配置している。 ・月に二回、長野本社と東京支社にて環境整備点検を実施している。			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・経営計画書に**社員の健康に関する**方針を明記し、朝礼、方針勉強会、全体会議の中で読み合わせをして周知徹底している。 ・就業規則の【ストレスチェック】にて明記している。 ・部門ごとにリーダー制を設け、リーダーと部下とのコミュニケーションを図る取り組みをしている。			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・経営計画書に**人材活用の**方針を明記し、朝礼、方針勉強会、全体会議の中で読み合わせをして周知徹底している。 ・建設業であるが女性の積極的な採用を図っている。また、在宅ワークの許可等個々のライフステージに応じた労働状況に柔軟に対応している。 ・【予定】多様な人材の活躍状況をHPや広報等で積極的に発信する。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・経営計画書に**人材育成の**方針を明記し、朝礼、方針勉強会、全体会議の中で読み合わせをして周知徹底している。 ・職務、役割に応じた研修を実施している。 （新人研修　中堅社員研修　他） ・資格取得など個別に要望のある社員に対してはスキルアップへの支援を行なっている。				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・経営計画書に**人事に関する**方針を明記し、朝礼、方針勉強会、全体会議の中で読み合わせをして周知徹底している。					5.5			8.5		10.2 10.3							

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・就業規則に【健康診断】【指定医検診】について明記している。 ・【予定】都道府県協会けんぽに「健康企業宣言」を行う。			3					8									
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・事務所、工場、現場から排出される廃棄物を適切に分別し、廃棄物処理業者に直接持ち込み処分している。 ・【予定】廃棄物の種類、量などを把握し、削減に向けて台帳等を整備する。											11.6	12.4		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・自社のエネルギー使用量の把握、管理をしている。 ・【予定】自社の温室効果ガス排出量の把握管理をする。							7.3						13				
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・【予定】算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握し、排出の削減の計画を策定する。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・使用する原材料は、基本的にフォースター製品を使用している。 ・【予定】有期化学物質を把握し、適切な使用に取り組む。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・通常廃棄処分されてしまう原材料（古木）を持続的利用に配慮して積極的に調達、使用することにより森林及び生物多様性保全に配慮している。						6.6									15		
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・通常廃棄処分されてしまう原材料（古木）を持続的利用に配慮して積極的に調達、使用している。 ・事務所、工場、現場の資源利用の削減、再利用を推進している。												12.5		14.1			
17		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】自社の水利用状況を把握し、使用量削減等の計画を策定する。						6.4 6.6											
18		□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・【予定】自社に合った環境マネジメント規格を検討し取得する。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・【予定】HP等に環境の取り組みに関する情報を開示する。												12.6					
20		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】自社にあった再生エネルギーを考え、利用に取り組む（太陽光発電設備の設置を計画している）。							7.2						13				
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・通常廃棄処分されてしまう原材料（古木）を持続的利用に配慮して積極的に調達している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に【企業秩序維持】【服務規律】について明記している。 ・服務規程を定めて社内浸透を図っている。																16 16.5	
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に【企業秩序維持】【服務規律】について明記している。 ・服務規程を定めて社内浸透を図っている。																16	

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
24	公正な事業慣行	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・商標知的財産権の取得・管理をしている。 ・首相官邸HPに経営デザインシートを掲載している。 ・【予定】ビジネスモデルの特許取得する。（特許出願中）								8.2 8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・就業規則に【企業秩序維持】【個人情報の保護】【服務規律】ついて明記している。 ・服務規程を定めて社内浸透を図っている。 ・プライバシーポリシーを定めて公表し体制を整備している。																16	
26		□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・【予定】紛争鉱物を使用している可能性は極めて低いが、資材のサプライヤに対して調査、把握をする。																16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】サプライヤー、事業パートナーなどに対して人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応について認識を共有し要請をする。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・経営計画書に**製品安全に関する**方針を明記し、朝礼、方針勉強会、全体会議の中で読み合わせをして周知徹底している。 ・エコマークを取得している。 ・【予定】FSC認証を取得する。			3.9									12.4					
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・経営計画書に**品質**方針を明記し、朝礼、方針勉強会、全体会議の中で読み合わせをして周知徹底している。 ・**古木の魅力を活かした**ビジネスモデルを構築している。 ・【予定】ビジネスモデルの特許取得する。（特許出願中）									9								
30		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・古民家解体時にでる廃材（古木）を再利用することで環境と調和のとれたものづくりをしている。 ・古木を使った地球環境に貢献するビジネスモデルを推進している。（kobokuエコシステム）												12	13		15		17.17
31		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・社会問題化する空き家問題をテーマとしたビジネスモデルを推進している。（古民家移築再生など）			3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17.17
32	社会貢献・地域貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・自社事業の地域への影響**（プラス、マイナス）**を把握し対応、改善に努めている。 ・【予定】地域の枠を広げて対応、改善に努める。				4					9		11	12		14	15		17.17
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・自社敷地内の緑化推進、特に花の咲く植物の積極的な植栽によりニホンミツバチの生息域維持に貢献するなど、地域の生態系の維持や環境整備活動に取り組んでいる。 ・地域の職場体験の受け入れをしている。				4							11			14	15		17.17
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・古民家解体時にでる廃材（古木）を積極的に再利用している。								8	9		11	12	13				
35		□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営計画書に理念や方針を明記し、朝礼、方針勉強会、全体会議の中で読み合わせをして周知徹底している。								8	9								17

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
36	組織体制	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・経営計画書に**法令遵守に関する**方針を明記し、朝礼、方針勉強会、全体会議の中で読み合わせをして周知徹底している。																16	
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・各部門ごとにリーダー制を設け、**各リーダーに対して社会・環境に及ぼす注意点を教育し、より貢献できるように適宜対応できる体制を整えている**。																16	
38		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・適宜ステークホルダーと対話をし、自社活動の影響を把握し適切に対応している。 ・山翠舎で空間づくりをしたオーナー様が集うサロンを運営し、会員間の交流と様々な情報共有等を図ることを目的としている。(koboku倶楽部)									9							16	17.17
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・経営計画書に理念や方針を明記し、朝礼、方針勉強会、全体会議の中で読み合わせをして周知徹底している。 例;(苦情(クレーム)に対する方針等)																16	
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・古木を使った地球環境に貢献するビジネスモデルを推進している。(kobokuエコシステム)本業を通じてCSRを推進していくことをコンセプトとしている。 ・【予定】下記に示した独自の取り組みを推進し、HP等に具体的な取り組みに関する情報を開示する。																16	17.17
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】事業継続計画の策定、定期的な訓練を実施する。									9		11		13 13.1			16	
42		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・専門機関に相談しながら検討を進めている。 ・後継者候補がいる。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
ＦＳＣ認証を取得する	・【予定】古木を活用した自社製品でＦＳＣ認証を取得する。 ・【予定】古木を活用した自社製品を使った空間のＦＳＣ認証を取得する。							7		9.4			12.4 12.5 12.8	13		15		
古民家の解体で通常廃棄処分されてしまう原材料（＝古木）を資源として再活用する	・古木を活用することによって古民家の解体から発生する廃棄物の排出を最小化する。 ・古木を資源として活用することによって低炭素化を促進する。 ・古木を活用し建築文化を継承した空間を全国に提供することで木の文化を継承に貢献する。							7		9.4			12.4 12.5 12.8	13		15		
・資源＝古木をワンストップで扱うことで社会価値を最適化する ・古木を取り扱うパートナーを全国的に広げる	・古木を活用し建築文化を継承した空間を全国に提供することで木の文化を継承に貢献する。 ・加盟店（古木ネットワーク）を広げる活動をしている。											11.a	12.4 12.5 12.8	13		15		17.17
古民家所有者とコミュニティの課題を解決する	・【予定】空き家となった古民家を管理するサービスを提供するための仕組みを構築する。この管理サービスを入り口に古民家の流動化を促進して空き家問題の解決に貢献する。 ・【予定】古民家そのものを利用してコミュニティの活性化に貢献する。											11.a	12.4 12.5 12.8	13		15		17.17

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域の資源を活かしたビジネスモデルを実現する				・地域資源=古民家を起点として地域経済に貢献する ・古木を通じて地方と都市の間で資源循環を実現する											11.a	12.4 12.5 12.8	13		15		17.17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）